



石川県 羽咋市

姉妹都市

ふらむはくい

明けましておめでとうございます
羽咋市長 岸博一



羽咋市長 岸博一

新年のあいさつ

皆さま、明けましておめでとうございます。
 去年は、当中学生在が修学旅行で貴市を訪れたほか、多くの市民団体が訪問させていただきました。私も藤岡まつりに参加し、新井市長をはじめ、貴市の皆さまに歓迎いただきました。また、青木市議会議長をはじめ、市議会議員の皆さまに唐戸山神事相撲を観戦いただき、例年にも増して相撲場が活気に溢れていました。本年、貴市におかれましては市制施行70周年を迎え、両市の親善と交流がより一層深まることを願っています。
 藤岡市のますますのご発展と、藤岡市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.94

豊蚕への祈り

～動物にまつわる養蚕信仰のかたち～

近代的な養蚕技術が確立する以前、養蚕は天候などの条件に左右され、当たり外れが多く、人々は生活安定を求め、古来から神仏に豊蚕祈願を行ってきました。豊蚕への願いは切実で、祈願の対象となる蚕神も多種多様でした。各蚕神が伝わった経路や成り立ちなどは、未だ未解決の部分が多いですが、今回は動物にまつわる養蚕の習俗を紹介します。

ウマは、当時の人々にとって身近な存在で、家畜や財産として大切にされてきたこと、蚕が頭を持ち上げる動きがウマと似ていることなどから、蚕とウマが信仰として結び付いたとも言われています。東平井の秋葉神社などが蚕神社として知られ、春祭りには養蚕農家が参拝に来て、ウマのわらじを借り、神棚の脇や蚕室につるして豊蚕を祈願しました。翌年に繭が採れると新しいわらじを作り、倍にして神社に返しました。

日野の坂野の巖島神社では、川原のきれいな

石を白紙に包み神前に供え、「オネコサン(ネコ石)」と呼び参拝者に貸し出しました。ネコ石をコノメ(蚕棚)に乗せるとネズミが出ないとされ、翌年に返礼として借りた倍の石を納めました。

蚕とヘビの関係はやや曖昧ですが、一説にはヘビがネズミを狙って蚕室に来るためヘビを神様として扱った地域も多く、両者には深い関係があるとされています。昔、中大塚の怨霊大明神の石宮に白蛇が出たため、養蚕農家では小石を2個借り、神棚や蚕室に供え、蚕の時期が終わると鶏卵2個を奉納したそうです。

ウマ・ネコ・ヘビなどの身近な動物たちと養蚕信仰が結び付き、人々の精神や生活を支えていました。



ウマのわらじ

教えて! 消費生活

「訪問購入」のトラブルについて

Q 自宅に「着物など処分するものはないですか。なんでも買い取ります」という電話があり、来訪してもらった。用意した着物は、ざっと見ただけで「貴金属はないか」と聞いてきた。「ない」と答えたがあまりにもしつこいので、仕方なく貴金属数点を2万円で売却した。クーリング・オフできないと言われたが本当なのか。

A 事前に電話などで連絡した場合でも、当初とは違う物品について売却を求めるとは禁止されています。また、クーリング・オフが認められており、書面を受け取った日を含めて8日以内はクーリング・オフができ、物品の引き渡しを拒むことができます。ただし、自動車・家具・家電(携行が容易なものを除く)・本・CD・DVD・ゲームソフト類・有価証券などはできません。購入業者から電話が掛かってきても安易に訪問を了承しないようにしましょう。また、突然訪問してきた購入業者を家に入れないようにしましょう。クーリング・オフをしても業者によっては「処分した」と言って商品を返さないケースもあります。売却したくない場合はきっぱりと断りましょう。

【消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時】

いまからできる!



日常防災

Everyday disaster prevention

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

命に関わるほど大事な口腔ケア!

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

新年を迎えて、おいしい物を食べ過ぎてしまうこの時期、口腔ケアはできていますか? 口の中に細菌が増えると、虫歯や歯周病になったり、口臭が発生するだけでなく、感染症にかかりやすくなったり、心臓病を引き起こすことも知られています。そこで今回は、災害時の口腔ケアの重要性を見直してみましょう。

災害時の避難所では、歯ブラシがなかったり、水が足りなかったりなど、歯磨きや入れ歯のケアがおろそかになりがちです。特に高齢者は、食べ物を誤って気管に飲み込みやすく、その時に菌が肺に入って肺炎を引き起こすことがあります。阪神淡路大震災の時には、災害によるけがや避難所生活の負担による病気などの死亡者のうち、24%の人が肺炎が原因で亡くなりました。これは、災害関連死のうち最も多い割合です。

歯ブラシが手元にない場合は写真のように、清潔なタオルやティッシュを人差し指に巻き付

けて、親指で端を押さえるように持ちます。これで歯の表面をこすり、できる限り汚れを除去します。歯ブラシのように細かい所をきれいにするのは難しいですが、非常時には有効なケアです。また、普段からキシリトール入りのガムや洗口液を持ち歩いていると、急に災害に巻き込まれた時にも役立ちます。そして、防災グッズの中にも、歯ブラシセットなどの口腔ケアグッズを準備しておくとなお良いです。

「緊急事態だから歯磨きぐらい我慢しよう」などと考えず、避難所生活を健康に生き抜くために、口腔内のケアはとても大事だということをおぼえておきましょう。

